

一般会計および特別会計予算額

区分	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増減率
一般会計	456億5,600万円	450億3,600万円	1.4%
特別会計	265億6,854万6千円	260億2,040万円	2.1%
国民健康保険 特別会計	120億5,727万9千円	118億9,243万3千円	1.4%
後期高齢者 医療特別会計	37億1,686万3千円	35億7,026万円	4.1%
介護保険 特別会計	107億9,440万4千円	105億5,770万7千円	2.2%
合計	722億2,454万6千円	710億5,640万円	1.6%

下水道事業会計予算額

下水道事業会計	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増減率	
収益的収支	収入	23億2,888万3千円	23億7,576万8千円	△2.0%
	支出	22億7,518万9千円	22億9,370万9千円	△0.8%
資本的収支	収入	13億7,469万6千円	11億1,411万8千円	24.8%
	支出	21億6,803万7千円	18億9,196万5千円	14.6%

※△はマイナスを表します。

基金の状況

区分	令和5年度末 現在高見込	令和4年度末 現在高見込	増減額	備考
財政調整基金	38億42万円	46億6,773万8千円	△8億6,731万8千円	繰入金 8億6,738万9千円
減債基金	32万4千円	32万3千円	1千円	繰入金 0円
特定目的基金	37億867万6千円	35億3,533万5千円	1億7,334万1千円	
郷土美術館建 設基金	1億7,579万6千円	1億7,579万1千円	5千円	繰入金 0円
みどりの基金	7億7,340万円	7億5,338万4千円	2,001万6千円	繰入金 0円
ふるさと 創生基金	6,872万4千円	6,872万2千円	2千円	繰入金 0円
公共施設等整 備基金	19億1,075万1千円	19億1,070万2千円	49千円	繰入金 0円
自転車等駐 車場整備基金	7,619万3千円	7,619万1千円	2千円	繰入金 0円
教育振興基金	742万7千円	742万6千円	1千円	繰入金 0円
都市計画 事業基金	6億7,713万3千円	5億2,614万9千円	1億5,098万4千円	繰入金 0円
森林環境 譲与税基金	1,925万2千円	1,697万円	228万2千円	繰入金 0円
合計	75億942万円	82億339万6千円	△6億9,397万6千円	繰入金 8億6,738万9千円

※△はマイナスを表します

# 予算特別委員会での審査

令和4年度一般会計補正予算案(第14号)および国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の3特別会計補正予算案、令和5年度一般会計予算案および3特別会計予算案ならびに下水道事業会計予算案は、予算特別委員会5日間にわたり審査されました。

本面上段では委員会での審査概要、4・5面上段では歳出を中心とした主な質疑の内容をお知らせします。

予算特別委員会では、4年度補正予算案の審査、5年度当初予算案の総括説明および説明に対する質疑、歳出を中心とした審査が行われました。

5年度予算編成に当たっては、「やれる、できる」という姿勢で困難を乗り越え、第5次長期総合計画に掲げる将来像「みんないきいき活力あふれる湧水のまち東久留米」を目指すとともに、次の50年に向けての礎となる一歩を踏み出すため、所信表明で示した3点の事項を重点的取り組みとして編成方針に示し、編成していかなくてはなりません。

基本方針として、①歳入については、経済情勢を的確に把握分析し、税制改正の動向等を勘案し、精度を向上させた年間収入見込額を見積もることなど5項目、②歳出の見積もりについては、「財政健全経営計画実行プラン」に示した事項は年次スケジュールに従い確実に反映させること、事業実施に伴う経費は、特定財源の確保および実施体制と手法の精査を行い、一般財源を抑制することなど7項目、③普通建設事業の要求については、公共施設については当面の施設保全および法令、その他による工事として

て選定された事業に基づく要求とし、整備の内容等を精査し要求することなど2項目、④基金の活用等については、財政調整基金は、災害時や年度中の資金繰りに備え一定額の積み立てが必要であることを考慮し、処分規定に沿って適切に活用することなど2項目、⑤特別会計の予算編成は、一般会計に準じて適切に見積もること、などが掲げられました。

5年度一般会計予算案は、歳入歳出それぞれ45億5600万円、前年度比6億2千万円、1.4%の増、3特別会計と合わせた総額は72億2454万6千円、前年度比11億6814万6千円、1.6%の増となりました。下水道事業会計は、収益的収支のうち収入が23億2888万3千円、支出が22億7518万9千円、資本的収支のうち収入が13億7469万6千円、支出が21億6803万7千円となりました。

## 令和5年度予算案に対する各会派の意見表明・賛否討論(要旨)

3面～5面上段に掲載した予算特別委員会の審査を経て、3月27日の本会議で令和5年度予算案に対する各会派(議長を除く)の意見表明・賛否討論が行われました。3面～5面下段で要旨を掲載します。各会派の賛否は8面をご覧ください。

### 市民クラブ

#### 次の50年へのまちづくりへ

富田市長が予算編成から調整した最初の予算である。総括代表質問において市政運営の基本的な考えをお答えいただいたが、私たち市民クラブも、次の50年へのまちづくりの礎を築く上で重要な政策は、公共施設マネジメント、デジタル・トランスフォーメーションの推進、子どもたちへの支援

と考える。市長とともに市政を進めていきたい。

令和5年度一般会計予算は45億5600万円、令和4年度予算比で6億2千万円、1.4%の増。

歳入では、市税は前年度比3億6103万9千円増、地方交付税も前年度比6億6300万円増を見込んでいます。臨時財政対策債は前年度比9億387万8千円減の3億8071万2千円、繰入金も全体で前年度比49.1%減の8億6739万円、財政調整基金も30億円以上

の老朽化など課題が山積する中にあることも、市長公約が反映された事業や市民生活に必要な事業が盛り込まれたことを高く評価する。

これまで市民の声をお聴きし求めてきた総合窓口化への第一歩となる「書かない窓口」の導入や小学校体育館へのエアコン設置、高校生世代までの医療費助成、通学路の安全に資する等松坂拡張事業、震度計移設など、数多く反映いただいた。

東久留米駅西口昇降施設を完了すべきと提案する。今回の予算は、利便性や安全性、地域の魅力を向上させ、「あんしんして暮らせるまち」実現のため重要な予算であり、DX・GXの

な手法を検討し、再整備に進むことを期待する。

次に、予算特別委員会での質疑から、学校などの施設へのPPAモデル導入や余剰電力を他の施設に供給する仕組みづくりの検討、東村山都市計画道路3・4・21号線(柳窪区間)の小平駅までの民間バス路線拡充、デマンド型交通運行事業本運行に向け検討を進めること、を要望する。

### 公明党

#### 新たな時代の扉を開く予算を評価!

令和5年度予算は富田市長就任2年目の予算であり、次の50年に向けての礎となる一歩を踏み出すために、所信表明で示した3点の重点的取組に着実に財源を配分できるよう、精査し調整した予算とのことである。

一般会計予算は45億5600万円、前年度比1.4%増、3特別会計を合わせた総額は72億2454万6千円、1.6%増となっている。

コロナ禍に加え、原油価格・物価高騰、少子高齢化、人口減少に加え、公共施設

を完了すべきと提案する。今回の予算は、利便性や安全性、地域の魅力を向上させ、「あんしんして暮らせるまち」実現のため重要な予算であり、DX・GXの

な手法を検討し、再整備に進むことを期待する。

次に、予算特別委員会での質疑から、学校などの施設へのPPAモデル導入や余剰電力を他の施設に供給する仕組みづくりの検討、東村山都市計画道路3・4・21号線(柳窪区間)の小平駅までの民間バス路線拡充、デマンド型交通運行事業本運行に向け検討を進めること、を要望する。

年を見据えた予算編成を行ったことは高く評価する。

東久留米市も国と同様で、今後18年間に生産年齢人口が17%以上減少するという厳しい将来予測を踏まえて「未来志向の公共施設マネジメント」を適切に進めていきたい。

基礎自治体として維持可能なサービスの見直しを踏まえた検討が必要である。国と足並みをそろえDXを急速かつ丁寧に進めなければならぬ。

利便性・効率性を高め、行政コストを削減し、次代を担う子どもたちへの支援の拡充を要望する。

以上を申し上げ一般会計予算案に賛成し、その他3特別会計予算案および下水道事業会計予算案には意見を付すことなく賛成する。

### 日本共産党

#### 市民の声を聞き、暮らしを守る施策の実現を!

令和5年度予算において最も考慮すべきは、物価高騰や新型コロナウイルスの脅威にさらされる市民生活

4面へ続く